



市民生活のために

議員提出議案

議案

福祉タクシーの事故防止のためのガイドライン策定等を求める意見書



議員提出議案として、私が提出者となり『福祉タクシーの事故防止のためのガイドライン策定等を求める意見書』を提出し、全会一致で可決されました。

この意見書は、介護保険対象外の福祉タクシーについて降車後の介護業務時の事故などに関するガイドラインが整備されていないことで、利用者やその家族と事業者との紛争なども起きていることへの危機感から提出したものです。

意見書の概要

- ① 介護保険対象外の福祉タクシー利用時の介護業務における事故防止のためのガイドラインを策定すること。
- ② 上記介護業務において事故が発生した際の事業者の報告を義務化すること。
- ③ 事故が発生した際の行政指導を徹底すること。



そのほかの主な議案 (都市整備常任委員会)

- 令和6年度上尾市一般会計補正予算(第3号)→埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金を充てることによる財源内訳の変更
- 市道路線の認定→新たな市道の認定



活動報告



2024年7月～9月



■7月5日
上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員として山形市の関連施設を視察。



■8月9日
高齢者介護施設クイーンズビル桶川の雨水貯留タンクを視察



■9月29日
ヒッポファミリークラブとして芝川小学校の国際理解授業に参加

えびはら直矢プロフィール

昭和62年12月3日生まれ。
●上智大学法学部卒
●首都大学東京社会人類学教室修了。
国連 UNHCR 協会職員などを経て、衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、子どもたちの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体など複数の団体の運営に携わってきた。2017年に上尾市議会議員に当選(現在3期目)。政策フォーラム・市民の声あげお会派代表。環境審議会委員。家族:妻、長男(9才)、長女(8才)、次男(6才)

市政へのご意見やお困りごとがございましたらお気軽にご連絡ください →FAX 048-677-1676

お名前	ご連絡先
-----	------

ご意見やお困りごとなど

上尾市議会議員(政策フォーラム・市民の声あげお)

えびはら直矢市政報告



令和6年9月定例会号
2024.10.23

発行人

海老原直矢
〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323
E-mail. ebihara116@gmail.com https://www.ebihara-naoya.com/

令和6年9月定例会議会報告

総合計画

産業系土地利用検討ゾーン
指定の際の課題を踏まえて採決を退席

議員提出議案

福祉タクシー事項防止のガイドライン
事故による紛争などを踏まえ意見書を提出

一般質問

地域の発展のための都市計画
市街化調整区域の再検討について質問

議案と一般質問の両方において市街化調整区域と地域の発展に資する都市計画について議論は定例会でした。ぜひ皆さんも考えをお聞かせください。



第6次上尾市総合計画基本構想の変更

産業系土地利用検討ゾーン指定の課題を踏まえ退席

本定例会では、決算認定や補正予算などに加えて、第6次上尾市総合計画基本計画基本構想の変更が議案として提案されました。この『上尾市総合計画基本構想』とは、まちづくりを進める上での基本的な姿勢である「基本理念」や「基本方向」を定めるもので、総合計画は上尾市の将来的なあり方を定め、そのほかの計画すべての基礎となる最も重要な計画です。

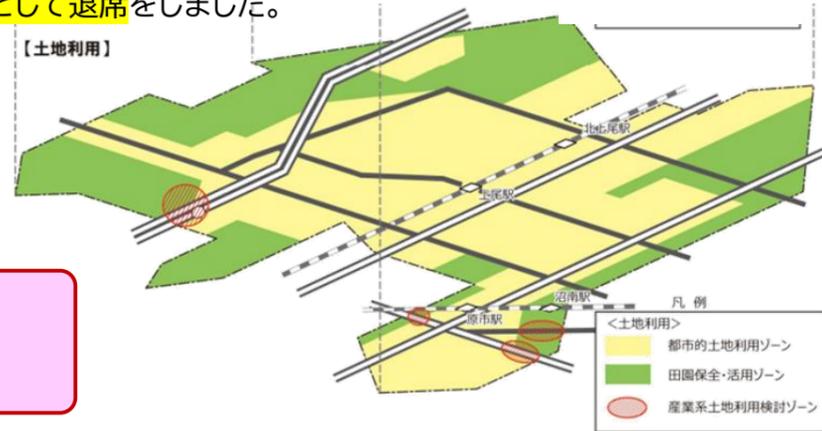
今回の変更では新たに産業の受け皿への転換を進める「産業系土地利用検討ゾーン」を指定して市街化調整区域からの転換を進めるものでしたが、上尾道路沿道の指定にあたって市が主導するのではなく、民間企業が地権者と交渉して取りまとめたものを市が追認する形を取っていたことから、計画の変更自体に反対ではないが、プロセスの適切性に欠けるとして退席をしました。



産業系土地利用検討ゾーン

広域都市間を結ぶ幹線道路の沿道で土地利用需要を踏まえ、周辺環境と調和した新たな産業の受け皿への転換を推進する地域

- 上尾道路沿道堤崎西部地区
- 国道16号沿道瓦葺・原市地区
- 県道さいたま栗橋線沿道原市地区



令和6年9月定例会『市民の声あげお』市政報告会

『市民の声あげお』として取り組んできた政策の進捗をご報告するとともに、9月定例会についての議会報告を行います。

11/24日

午後2時から

コミュニティセンター
第5集会室

お申込みはメールもしくは裏面のFAXにて
▶ebihara116@gmail.com
※お名前、ご連絡先をお知らせください。



市民の声を形に

令和6年9月定例会

テーマ ①福祉施策、②地域間格差の解消、③事業の精査

公共交通 公共バス以外の公共交通手段

タクシー有効活用の具体的検討

質問 (デマンド交通やタクシーの有効活用など)公共バス以外の公共交通手段について、導入を検討すべきであると考えが見解は。

市長答弁 ぐるっとくんの利便性向上を優先して取り組んでいる。運行見直しの効果検証を図りながら、**タクシー車両の有効活用方法について検討**を行いながら持続可能な公共交通網の実現に取り組んでいく。

Point 上尾市地域公共交通計画

▶ 施策4-2 タクシー車両の有効活用方法の研究「**高齢者や障害者等の交通弱者の移動手段確保のため、公共交通の一つであるタクシーの利用向上、市内全体の移動性の向上を目指す。**」

○実施主体	上尾市・タクシー事業者				
○スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8
	研究				

(出典)上尾市地域公共交通計画

まちづくり 公園遊具の設置

市民や企業からの公園遊具の寄附制度

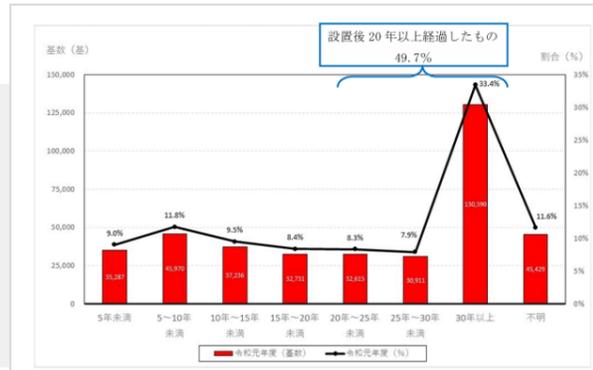
質問 過去の一般質問で公園遊具の設置について、市民や企業からの公園遊具の寄附制度の創設について提案をしたが、その後の検討状況は。

都市整備部長答弁 公園遊具などの寄附については、現在、『上尾市公園遊具等寄附事業実施要領』を策定中であり、**令和7年度の実施に向け関係部局と調整中**である。

Point 公園遊具の老朽化

都市公園の遊具のうち約半数が設置後20年以上経過している

(出典)国土交通省『都市公園等における遊具等の設置状況の調査結果』



(出典)鹿角市ふるさと産品地産地消推進条例

まちづくり 都市計画の変更

市街化調整区域の見直し

質問(要旨) 市街化調整区域のうち既に駐車場などとなっている地域について、「**田園環境の維持**」などの機能は意味のないものとなっていると考えるが、活用すべきではない理由は何か。

環境経済部長答弁 市街化調整区域に立地を誘導する場合は、原則その区域を市街化区域に編入することが必要となるが、慎重に検討していく必要がある。**活用も含めて検討していきたい。**

Point 上尾市内の地区ごとの飲食店数

原市地区・平方地区ともに、市民への調査では飲食店などが少ないことが課題としてあげられる

両地区ともに、中心地における市街化調整区域による開発抑制が課題

上尾地区	165
上平地区	31
原市地区	18
平方地区	13
大石地区	63
大谷地区	24

(出典):上尾市観光協会『あげおグルメサイト』HPをもとに海老原作成

まちづくり 市内事業者の販路拡大支援

市内の生産者と小売事業者とのマッチング

質問 市内の企業や農家が生産した物品や農産物について、取り扱いを増やすために市内のスーパーなどの小売事業者とのマッチングを進めるべきと考えるが市の考えは。

環境経済部長答弁 各市でそれぞれ違う状況であるため、調査研究をし、今後どういう形で進めていくのか、**状況に対応することが本市でできるのかも含めて検討していきたい**と考えている。

Point ふるさと産品地産地消推進条例

自治体によっては小売事業者に対して条例で市内産品の販売などを推進している。

秋田県鹿角市『ふるさと産品地産地消推進条例』

小売業者等は、基本理念にのっとり、ふるさと産品を積極的に調達し、及び販売するよう努めるものとする。

(出典)鹿角市ふるさと産品地産地消推進条例

議会のポイント

令和6年9月定例会

教育委員会委員の任命について討論



『教育委員会委員の任命』について、賛成の立場から討論を行いました。今回新たに女性の方が委員として提案があり、教育委員は教育長を除いた5名のうち2名が女性となります。これにより総合計画の目標である40%を達成することになります。また、さいたま市や桶川市では教育長も含めて男女同数となっており、上尾市でもさらに取り組みを続けることを求めました。

「スペシャルサポートルーム」についての請願が採択



私たちの会派で紹介議員となった不登校支援への予算拡充を求める請願が採択されました。この請願では、各小・中学校に設置された『スペシャルサポートルーム』に適切な人員配置をすること、「安心・安全な居場所」を稼働させるための必要な知見を持った人員を市が募集することを求めています。反対討論を行う会派もありましたが、賛成多数で採択されました。

請願提出は市民の権利です。提出を検討している方がいらっしゃいましたらぜひご相談ください。

